

おせつかえる活動 報告会資料

2023年度



認定NPO法人

豊島子ども **WAKUWAKU** ネットワーク

おせつかい事業部 おせつかえる活動

〒170-0011 豊島区池袋本町1-28-1

E-mail : osekkaeru@toshimawakuwaku.com

TEL : 050-5526-1229

URL : <https://toshimawakuwaku.com/osekkaerukatudou/>

* このプログラムは、【東京都福祉保健財団子供が輝く東京・応援事業】の助成を受けて、実施しております。

01 おせつかえる活動概要

WAKUWAKUは「おせつかい精神」が広がる地域になることを願っています。

おせつかいと聞くと、押し付けがましさを感じる人もいるかもしれません、余計なことはしないけれど、必要だと思うことはやっていく、そんな節度あるおせつかいを目指しています。

“おせつかえる活動”とは？

WAKUWAKUは設立から11年目になりました。当時サポートを受けていた子どもたちも、大学生や社会人になりました。子どもの居場所をつくってきた私たちにとって、大きくなった子どもたちとその後も緩く長く繋がり続けるということが、残念ながらあまりありませんでした。

そんな中、その子どもたちを育ててきた親御さんや、大きくなった子どもたちから「これまで支援（おせつかい）を受けたぶん、今度は支援をお返ししたい」という声を受けるようになり、繋がり続けるにもきっかけと仕組みが必要だ！と考えました。

こうして2022年12月より、おせつかえる活動がスタートしました。「おせつかいをお返ししていく」という意味から「おせつかえる活動」と称し、関わるボランティアの方々を「おせつかえるさん」と呼んでいます。

ロゴについて

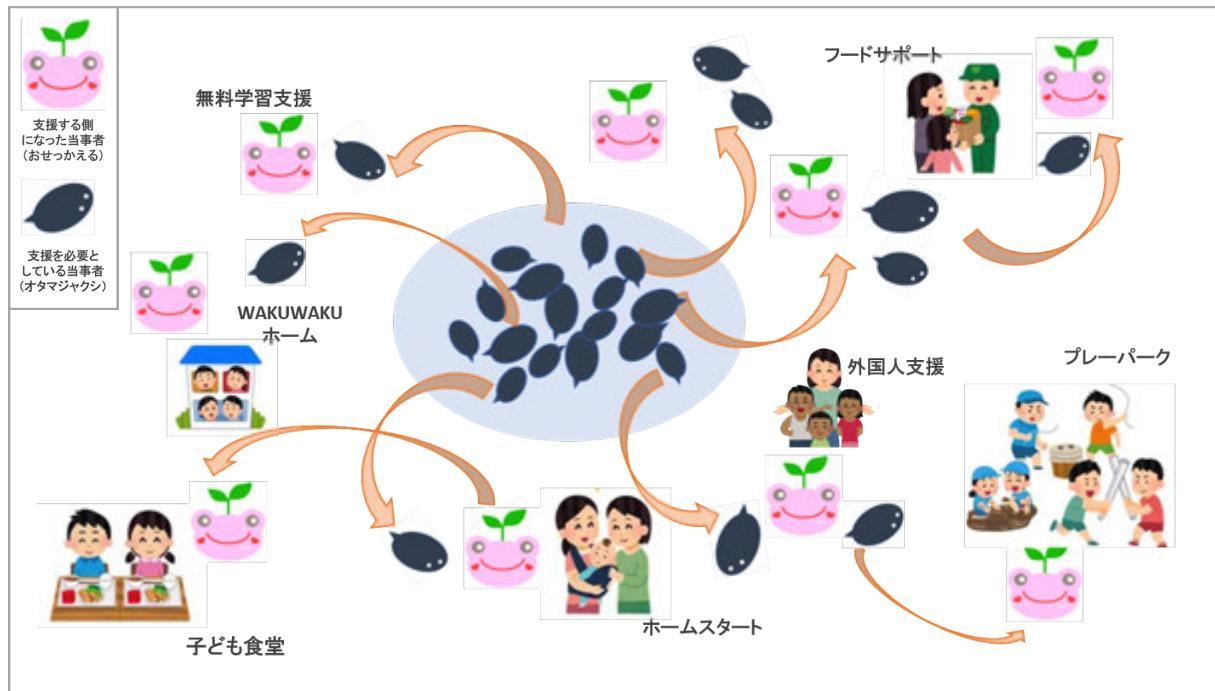


このピンクのWAKUWAKUのシンボルマークのかえるは、10年以上前のWAKUWAKU最初の子ども食堂に来ていた小学生の女の子が「お世話になった子がいつか地域におせつかいのお返しにかえってくる」という願いを込めて作ってくれました。正に今日のタイトル「地域にかえる、おせつかえる」です。

02 活動イメージ

今困っているおたまじゃくし親子が様々なサポートと関わりながら、やがて街の「おせつかいさん」になる。

おせつかえる活動では、このようなボランティアの循環を目指しています。



おせつかえるさん活動の様子



03 おせつかえるの仕組み

(2022年12月～2024年1月現在のデータ)

研修実施回数…15回

おせつかえる登録者数…54人



WAKUWAKUのおせつかえる活動は、地域に根ざしたボランティア活動です。居住地域ならではの気をつけたいこと、近い距離だから繋がれること・・・まずは思いを共有することから始めます。

STEP: 1 研修に参加

「個人情報守秘義務」や、「セーフガーディング」（子どもの人権を守るために、大人が心得ておかなければならぬガイド）、おせつかえるボランティアのための注意事項「おせつかえるの心得」の読み合わせを行い、思いを共有してもらいます。また、「ピアソーター」というWAKUWAKUで働くシンママの方にも参加してもらい、これまでの経験から活動で実際にありそうな場面を想定してお題を出し、参加者でどう対応するのがいいかを話し合ってもらいます。

STEP:2 おせつかえる登録（公式LINEへのご登録）

研修後、活動に賛同いただけたら、おせつかえる公式LINEに登録（=おせつかえる登録）。ボランティアの募集は、主に公式LINEからの一斉配信で呼びかけ、参加の希望や連絡事項などもここで直接やりとりします。

STEP:3 おせつかえるさんとのコミュニケーション

いずれも活動の前後に、ピアソーターから個々にLINEをお送りしています。活動参加中に感じた疑問や、困ったことはなかつたか等をお尋ねし、参加してくださる方とのコミュニケーションも大切にしています。

04 具体的な活動内容例

(2023年度 (2023年4月～2024年1月) のデータ)

イベント	説明
フードサポート	*毎月第3土曜・日曜日に実施。延べ197名が参加 5kgのお米、食料品等の寄付物資を配布
WAKUWAKUカフェ	*毎月第4土曜日に実施。延べ50名が参加 シングルマザーのおしゃべり会
学習支援	*毎週月曜日に実施。延べ37名が参加 小中高校生の学習支援
池袋こども食堂	*毎月第1月曜・第3木曜日実施。延べ18名が参加 子ども食堂で配るお弁当作り、お渡し係、片付け
WAKUWAKUホーム	*9回実施。延べ9名が参加 ゲームの相手等、ホームに来ている子どもと一緒に過ごしたり、夕食作りのお手伝いをする
書類サポート会	*6回実施。延べ15名が参加 公営住宅の申込や就学援助申請など、先輩ママが自分の経験をもとに書類作成をサポート
子どもの見守り	*2回実施。延べ5名が参加 研修やイベント参加者のお子さんの子守り

05 実施したイベント

おせつかえるさんを交えたイベント



おせつかえる交流会

おせつかえる活動を、もっと気軽で楽しい活動にしていきたいと思い、お互いがより知り合えるような会を開催しました。

おせつかえるさんはもちろん、現在支援を受けているママたちや地域の方々（民生委員さんなど）が集まり、ミニゲームやワークショップを実施し交流を深めました。

参加者アンケートでは、「普段利用する立場なのでボランティアさんに感謝を伝えられてよかったです」「もっといろんな人たちと話したいと思った」とのお声をいただきました。

また、おせつかえるさんからは「なかなか他のおせつかえるさんにお会いする機会がないので、たくさんの仲間に会えてうれしかったです！」「みんなで少しづつ荷物を負担しあえば、困難や難題も無理と思わず立ち向かって行けるんだなと思いました」とのお声をいただきました。

おせつかえるさんからの発案イベント



018サポートの申請会

おせつかえるさんからの発案で、018サポート申請会を開催しました。申請方法が複雑で途中で諦めてしまったという声が非常に多く、これは申請会を開催しよう！と、ピアサポートを筆頭に、おせつかえるさんと取り組みました。



テーマカフェ

自身の子育て経験から”今同じような悩みを抱えているママたちの支えになれば”と、おせつかえるさんからおしゃべり会の提案があり、トークテーマを絞った“テーマカフェ”を開催しました。第1回は「不登校」をテーマに、自身の子どもが不登校で悩んでいた経験を持つおせつかえるさんがファシリテーターとなって、お困りごとに同じ悩みを寄せていた方に呼び掛け、集まりました。



提言ミーティング（計2回開催）

9月の交流会では、ずっと解決しないワンオペ子育ての大変さが出されました。そこで出た子育てママたちのお悩み（意見）から、自分たちでなにかできることはないかと、何人かのおせつかえるさん達でミーティングの機会を持つことになりました。今後もミーティングを定期的に行い、来年度に向けての支援メニューを模索しています。

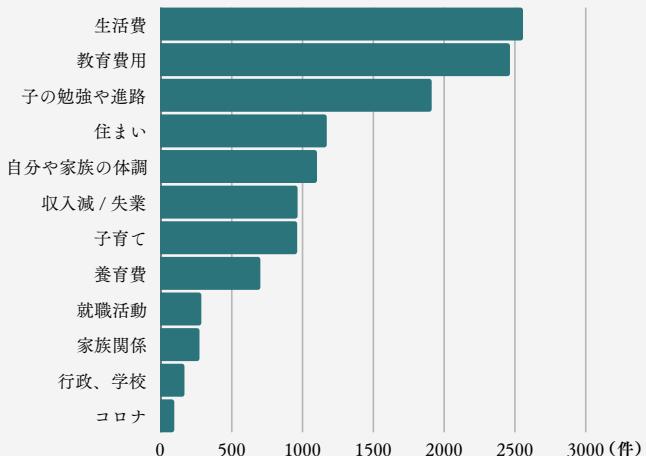
おせつかえる活動の入り口として、1番身近なフードサポート。WAKUWAKUの利用者も1番多い支援活動です。ここから見えてくるさまざまなデータをご紹介します。

どんなことに困っているの？

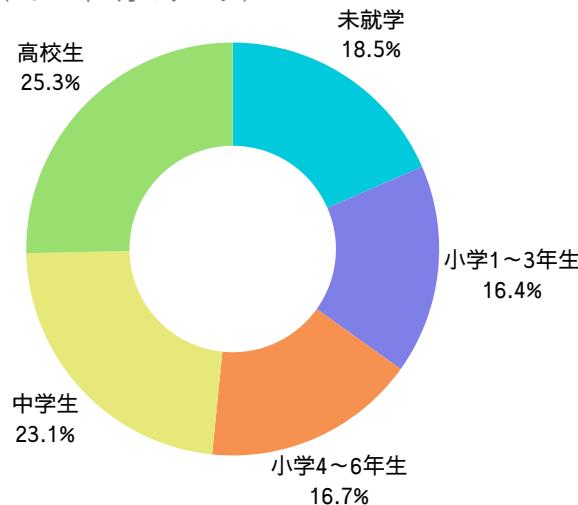
ひとりでの子育ては常に忙しく、目まぐるしい日々です。経済的な心配も後を尽きません。

こちらは、2023年度のフードサポート申込時に寄せられたお困りごとのデータです。

(2023年度 (2023年4月～2024年1月) のデータ)



(2024年1月のデータ)



利用世帯の子どもたちは？

子どもの年齢別割合

フードサポートにお申込みされた世帯の、子どもの年齢の割合を表したものです。年齢に応じて、抱える悩みもさまざま…。このうち、外国世帯の子どもたちも多くなってきています。

日本国籍……471世帯 (86.6%)

外国籍………70世帯 (13.4%)

おせつかえるさんの活躍

おせつかえる活動を始めて1年半。始めは地域の方だけだったボランティアさんにまじって、どんどんおせつかえるさんの参加が増えていきました。

※12月は、2拠点のみで開催だったため減少



07 効果と課題

おせつかえる活動の効果

地域活動参加への第一歩に



住んでいる地域でできるボランティアは、参加の負担も少なく行動のハードルが下がります。また、自身が受けていた支援の経験をいかすボランティアは、どのようなことをするのかが明確であるため、心理的なハードルも下がると考えられます。

繋がりづくり



例えばひとり親の方は、困っているときは1人で悩み、ともすると孤立した思いを抱えがち。ボランティア活動で同じ境遇の仲間と出会ったり、地域のサポートと繋がったりすることで、繋がり合い・助け合いが生まれます。

新しく創る支援



一人では考えるだけで終わってしまうことも、当事者同士の繋がりの中からできることを模索し、生み出しています。実際に利用者からの声でさまざまな支援プランが生まれ、当事者目線の配慮が反映されていきました。

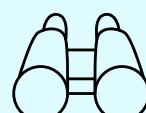
今後の課題

継続のための仕組みづくり



「地域のボランティアサークル」のような、気軽で楽しく参加できる仕組みづくりをめざしたいと考えています。そのためにも交流の機会をもっと増やしていきます。

視野を広げた活動



おせつかえるさんの経験を活かしたボランティアは、WAKUWAKUの中だけの活動に限りません。地域のボランティア活動やおせつかえるさん同士で何か生み出すことの応援にも力を入れていきます。

おせつかえる活動の認知



おせつかえる活動は、当事者がボランティアとなって地域で活動していく、新しいボランティアのかたちです。この活動をもっとたくさんの方に知ってもらいたいと思います。